

GSU011-P01

会場:コンベンションホール

時間: 5月23日17:15-18:45

## The Geological Attraction of Kagoshima Area

## The Geological Attraction of Kagoshima Area

中野 真帆<sup>1\*</sup>, 山下 大輔<sup>1</sup>, 上田 脩郎<sup>1</sup>, 田尻 留美<sup>1</sup>, 福井 海世<sup>1</sup>, Ur Rehman Hafiz<sup>1</sup>

Maho Nakano<sup>1\*</sup>, Daisuke Yamashita<sup>1</sup>, Shuro Ueda<sup>1</sup>, Lumi Tajiri<sup>1</sup>, Miyo Fukui<sup>1</sup>,  
Hafiz Ur Rehman<sup>1</sup>

<sup>1</sup>Dept. Earth & Env. Sci. Kago. Uni.

<sup>1</sup>Dept. Earth & Env. Sci. Kago. Uni.

文献での調査・聞き取り調査・実地調査などにより、鹿児島特有の地層や地形、地質について調べた結果を紹介する。鹿児島には4つのカルデラがあり、多くの火砕流堆積物が今なお残っている。これらの分布をまとめ考察することで、過去にどのような火山性のイベントがあったのか推測することができる。例えば、鹿児島本土を最大100m程度の厚さで覆っている入戸火砕流（シラス）があるが、この火砕流が噴出して形成されたカルデラが、面積が約250?もある錦江湾の湾奥部である。この他にも、鹿児島には一帯の植生を更新するほどの大規模な噴火の痕跡が多く残されている。また、隆起・沈降や海面位の変化のわかる地層もたくさん存在している。これらのことを総合すると、気候変動も加えた詳しい過去のイベントに迫ることができる。今回の発表では鹿児島県の地質概要と竜ヶ水の地層などを調べることで、このような過去のイベントに迫る。さらに、調査に伴ってわかった鹿児島の魅力を伝える。

キーワード:鹿児島特有の地層や地形、地質, 4つのカルデラ,火砕流堆積物,イベント, 入戸火砕流（シラス）,竜ヶ水の地層